

研究・教育・社会活動報告

網谷祐一 (2018年2月～2020年1月末)

1. 研究活動

研究論文

- 2019年3月 "The Effects of "L-S Reading" in English Extensive Reading Courses," HELES Journal, 18, pp. 51-65. DOI: 10.24675/helesje.18.0 51 [査読あり]

研究発表 (主なもの)

- 2019年8月「ノー・ニューロン、ノー・スタディ・オブ・マインド?」、日本進化学会シンポジウム「心の進化の神経基盤」、北海道大学、北海道。
- 2018年12月 "Did Social Factors Form the Reflective Mind?," Globality and Locality: International Conference on Philosophical Investigations of Science, Technology, and Society, Nanjing University, China. [招待講演]
- 2018年11月『『人間の心の進化』研究の哲学的検討』、三田哲学会講演会「心の科学と哲学の最前線」、慶應義塾大学三田キャンパス、東京。[招待講演]
- 2018年8月 "What can species theorists learn from Parfit?," The 4th Conference on Contemporary Philosophy in East Asia, National Chengchi University, Taiwan (with Tetsuji Iseda). [査読あり]
- 2018年3月「熟慮的理性の起源をさぐる」(基調講演)、進化経済学会、九州大学、福岡。[招待講演]
- 2018年3月「種問題から考える自然種概念の役割」、科学哲学と精神医学の哲学セミナー、東京大学、東京。[招待講演]

2. 教育活動

会津大学における担当授業 (2019年度)

- アカデミックスキル1・2
- 哲学(日・英)
- 科学史

3. 社会活動

一般向け講演

- 2019年9月「進捗状況を確認しよう!」、会津まちなかキャンパス、會津稽古堂(会津若松市生涯学習総合センター)。
- 2019年7月「研究とはなにか、どういう意味があるか」、会津まちなかキャンパス、會津稽古堂(会津若松市生涯学習総合センター)。

学外委員

- 日本科学哲学会理事、科学基礎論学会評議員、『科学哲学科学史研究』誌編集委員、Contemporary and Applied Philosophy 誌編集委員

池本 淳一 (2018年4月～2020年3月)

1. 研究

(学術論文)

・池本 淳一、2019、「喜多方レトロ横丁」における企画の概要とその変遷」、『松山大学論集』第31巻第1号、pp.103～143 (査読なし)

(著作等出版物)

出版書籍

・池本 淳一、2018、『実録 柔道対拳闘 (ボクシング) : 投げるか、殴るか』、BAB ジャパン

(競争的研究費)

・平成27～31年度 科学研究費補助金・基盤研究(B)。「近・現代東アジア武術の技法と思想の変容に関する国際比較：武術原理論の視点から」(研究分担者)

(その他)

研究発表論文

・池本 淳一、2018、「蔵のまち」喜多方の誕生と観光化をめぐる諸問題—「観光のまなざし」を分析枠組みに一」、日本観光研究学会「第33回日本観光研究学会全国大会学術論文集」(CD出版)、pp.173-176 (査読なし)

雑誌掲載

・池本 淳一、2019～、「中国伝統武器の手触り」、BAB ジャパン『月刊 秘伝』2019年9月号～現在まで毎月号掲載、毎号全2p (取材・文を担当)

・池本 淳一、2018、「台湾 道生中国兵器博物館訪問記」、BAB ジャパン『月刊 秘伝』2018年7月号、pp.88～93、(取材・文を担当)

2. 教育・運営・FD活動

(担当授業)

・ アカデミックスキル1・2 ・社会学 ・地域社会学 ・Sociology (英語科目)

(サークル顧問)

・ カンフー&ライオンダンスサークル

3. 社会貢献

(外部委員)

・ 会津美里町教育委員会点検及び評価における有識者会議委員

(会津大学公開講座)

・ 「太極拳で健康づくり」(會津稽古堂)、2019年11月11日・18日・25日

蛭名 正司 (2018年4月～2020年3月)

1. 研究活動 (著作・出版, 学会発表など)

【学術論文】

- ・佐藤誠子・蛭名正司・工藤与志文 授業における操作可能なルールの教示が科学法則の初歩的な理解に及ぼす影響—質量保存則を例に— 教授学習心理学研究, 14, 42-56. (2019.1)
- ・蛭名正司 教養科目アカデミックスキル1における学生の自己評価と授業実践 会津大学文化研究センター研究年報第25号, 19-28. (2019.3)
- ・蛭名正司 教養科目アカデミックスキル1における学生の自己評価と授業実践2—クラス間の比較に中心に— 会津大学文化研究センター研究年報第26号, 29-35 (2020.3)

【学会発表】

- ・小野耕一・蛭名正司 中学校理科における湿度の授業に関する実践研究(1)—授業プランと事前調査の結果— 日本教授学習心理学会第14回年会予稿集, 28-29. (2018.7)
- ・蛭名正司・小野耕一 中学校理科における湿度の授業に関する実践研究(2)—事後調査の結果と授業過程の分析— 日本教授学習心理学会第14回年会予稿集, 30-31. (2018.7)
- ・蛭名正司・小野耕一 湿度に関する誤概念とその修正 日本教育心理学会第60回総会発表論文集, PE34. (2018.9)
- ・小野耕一・宮田佳緒里・蛭名正司 中学校3年理科の「力の合成・分解」に関する実践研究(1)—授業プランの有効性の検討— 日本教授学習心理学会第15回年会予稿集, 16-17. (2019.6)
- ・蛭名正司・宮田佳緒里・小野耕一 中学校3年理科の「力の合成・分解」に関する実践研究(2)—プラン群の授業過程の分析— 日本教授学習心理学会第15回年会予稿集, 18-19. (2019.6)
- ・蛭名正司 数当てゲームへの参加が数学的証明の一般性の理解に及ぼす影響 日本教育心理学会第61回総会発表論文集, PC31. (2019.9)

【シンポジウム】

- ・「教科教育の心理学(3)教科教育の改善に資する授業実践研究, 実験・調査研究のあり方を探る」話題提供, 日本教育心理学会第61回総会自主企画シンポジウム(企画:藤村宣之, 橘春菜, 石橋優美, 鈴木豪) (2019.9)

【競争的研究費】

- ・科学研究費補助金(若手研究)「内包量概念の統合的理解を促す教授法の開発とその教授学習過程の解明」(2019～2021), 研究代表者

2. 教育活動

- ・教育心理学・教育方法・教育課程論・数学科教育法1,4・教職実践演習・教育実習1,2・心理学
- ・教育実習事前事後指導・アカデミックスキル1,2・課外プロジェクト「教師になろう!」・卒業研究

3. 学内運営(委員会)

- ・情報センター運営委員会(2018.4-2019.3)・FD委員会(2018.10-2019.3)
- ・クラス担任(2019.4-)

4. 社会活動

- ・会津若松市教育委員会「点検及び評価における有識者会議」委員(2018-)
- ・会津若松市教育委員会「外国語指導助手派遣業務プロポーザル選考委員会」委員(2019.2)
- ・日本教授学習心理学会編集委員会事務局(2019.4-)

苅間澤 勇人 (2019年2月～2020年1月)

1 研究活動 (著作・出版, 論文, 学会発表)

- ・苅間澤勇人(2019).高等学校における構成的グループエンカウンターを活用した援助 高校保健ニュース, Vol.656, Vol.659, Vol.662, Vol.664, Vol.666, 株式会社 少年写真新聞社
- ・苅間澤勇人(2019).北海道・東北での支部活動を活性化しよう! 月刊生徒指導, 2019年11月号, 学事出版
- ・清水由佳・苅間澤勇人(2019).紙上進路指導ケーススタディ キャリアガイダンス, Vol.426, Vol.427, Vol.428, Vol.429, Vol.430, リクルート
- ・日本教育カウンセリング学会第17回研究発表(早稲田大学)大会
大会シンポジウム(話題提供者)「主体的・対話的で深い学びとなる授業改善とインクルーシブ教育を両立させる教育カウンセリングのあり方ー現場からの提案ー」
自主シンポジウム(企画・司会・話題提供者)「学級経営コンサルテーションをどのように成功に導くかー研修会講師・学校長・研究主任としての立場からー」

2 教育活動

- ・教育入門 ・教師入門 ・道德教育 ・特別活動 ・生徒指導・教育相談 ・情報と職業
- ・教育実習事前事後指導 ・教育実習1・2 ・教職実践演習 ・アカデミックスキル1・2

3 社会活動

(1) 会津大学公開講座

○講義 第17回～第21回「教育課題の解決を目指す教師行動(会津QU学習会)」

○教員派遣公開講座

- ・福島県立喜多方桐桜高等学校
- ・会津若松市立日新小学校
- ・会津若松市立第四中学校
- ・喜多方市立教育委員会
- ・会津坂下町立坂下中学校
- ・会津坂下町立会津坂下南小学校
- ・会津坂下町立坂下東小学校
- ・白河市立白河第三小学校

(2) 研究成果の還元(研修会)

- ・青森県 三戸地方教育研究所
- ・青森県高等学校教育研修会教育相談部会
- ・岩手県 一戸町教育委員会
- ・岩手県 洋野町教育委員会
- ・秋田市教育研究所
- ・宮城県教育センター(生徒指導スキルアップ)
- ・山形県教育センター(生徒指導協議会)
- ・山形県教育センター(5年次研修会)

(3) 委員等

- ・福島県教育委員会 使用教科用図書選定審議会(委員)(2018年度から)
- ・会津若松市教育委員会 あいづっこをいじめから守る委員会(委員長)(2015年度から)
- ・会津若松市教育委員会 学力向上委員会(委員長)(2016年度から)
- ・喜多方市教育委員会 教育振興基本計画審議会(委員)
- ・白河市いじめ対策連携協議会(委員)

(4) 学会活動

- ・日本教育心理学会 社員(理事) ・日本学級経営心理学会 常任理事(広報委員長, 査読委員)
- ・日本教育カウンセリング学会 常任理事(事務局長, 査読委員) ・日本特別活動学会 (理事)
- ・日本生徒指導学会 (理事) ・日本教材学会 (理事、東北・北海道支部支部長)

小暮 克夫 (2018年4月～2020年3月)

1. 研究

(学術論文)

- Kogure, Katsuo and Yoshito Takasaki, “GIS for Empirical Research Design: An Illustration with Georeferenced Point Data,” *PLoS ONE* 14(3): e0212316. (査読有)
- Kogure, Katsuo and Yoshito Takasaki, “Conflict, Institutions, and Economic Behavior: Legacies of the Cambodian Genocide,” Japan-ASEAN Transdisciplinary Studies Series 7, Kyoto University, April 2019. (査読無)
- Kogure, Katsuo, “Some Remarks on the Causal Inference for Historical Persistence,” Japan-ASEAN Transdisciplinary Studies Working Paper Series, No.3, Kyoto University, January 2019. (査読無)

(講演・口頭発表等)

- Kogure, Katsuo, “Consequences of Cambodian Refugees,” SEASIA Biennial Conference 2019, Academia Sinica, Taipei, Taiwan, December 7, 2019. (招待)
- Kogure, Katsuo, “Consequences of Cambodian Refugees,” 日本経済学会 2019年度春季大会, 武蔵大学, 2019年, 6月8日. (査読有)
- Masahiro Kubo and Katsuo Kogure, “Consequences of Cambodian Refugees,” 2019 Pacific Conference for Development Economics, University of Southern California, Los Angeles, USA, March 16, 2019. (査読有)
- Kogure, Katsuo, “Consequences of Cambodian Refugees,” アジア経済発展研究会, 京都大学, 2019年, 2月27日. (査読無)
- Kogure, Katsuo, “GIS for Causal Research Design,” GIScience 2018: 10th International Conference on Geographic Information Science, RMIT University, Melbourne, Australia, August 30, 2018. (査読有)
- Kogure, Katsuo, “Consequences of Cambodian Refugees,” 16th International Convention of the East Asian Economic Association, National Taiwan University, Taipei, Taiwan, October 27, 2018. (査読有)

(競争的研究費)

- 2018年度～2019年度科学研究費補助金 (挑戦的研究(開拓)). 「空間データと開発プログラム評価の統合」(研究分担者)
- 2018年度～2019年度国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化(B)). 「熱帯雨林の保全と開発に関する学際共同研究」(研究分担者)
- 2018年度科学研究費補助金 (若手研究 B). 「制度と人間行動の相互作用に関する実証研究」(研究代表者)

2. 教育・運営

(担当授業)・経済学(日本語) ・経済学(英語) ・経済発展論 ・アカデミックスキル1・2
(学内委員会)情報センター運営委員会

3. 社会貢献

(外部委員)・会津若松地方広域市町村圏整備組合情報公開等審査会委員 (委員)

清野 正哉 (2019年4月～2020年3月)

1. 研究活動等

(講演等)

- ・昭和電工喜多方アルミ株式会社からの依頼により「ソーシャルメディアと人権」というテーマで講演

2. 担当授業科目・学内委員会・公開講座等

(担当授業科目)

- ・コンピュータ理工学部 専門教育「情報倫理」、
教養教育「日本国憲法」、「法学」
SCCP 公務員・教員試験対策講座・ベンチャー/コンテンツビジネス(今年度休止)

(学内委員会)

- ・学生支援委員会

(公開講座・教員派遣講座としての担当内容)

「AIの法律・倫理問題」、「安心・安全のための情報の取り方」、「学校教育における情報モラル」、「クラウドコンピューティングの法律問題」、「ソーシャルメディアと企業経営」、「ソーシャルメディアなどのインターネット及びスマートフォンの利用におけるトラブル・法律問題とその解決講座」、「地域活性化のための方法論」、「企業経営や事業化のための資金調達の方法論」

2-2 学外 担当授業科目

竹田看護専門学校 「看護と法」

3. 教育実践・地域貢献活動

- ・県内中小企業及び県外企業、NPO 法人、市町村からの相談多数 (相談内容の例 技術評価・技術マッチング、知的財産管理、著作権、商標・意匠事業、個人情報管理、企業経営戦略、資金調達、社内人材育成、ソーシャルメディア事業、新規事業戦略・方法、再生エネルギー事業、法令解釈 子ども子育て関係)
- (学外委員等)

- ・会津若松市行政不服審査会 会長
- ・会津若松市情報公開及び個人情報保護審査会 会長
- ・会津若松市子ども子育て会議 会長、会津若松市次世代育成協議会 会長
- ・喜多方市立小中学校適正規模適正配置審議会 会長

4. その他

- ・特許権 4747250 号(代理人端末装置及び代理人端末装置の制御プログラム 2012年5月27日登録)更新中

中澤 謙 (2018年4月～2020年3月)

1. 研究

(学術論文)

- Nakazawa, K. Nishihara, Y. (2019). Use of Quantitative Content Analysis to Redesign the University Physical Education Course Based on Students' Reflections. Proceedings of the 2019 7th International Conference on Information and Education Technology, pp.209-213.

(著作等出版物)

- 中澤 謙. (2018). 会津地方の冬季間の保育遊び. 子どもと発育発達. 16(1) pp.54-56.

(学会発表)

- 中澤 謙. (2020). LMS を活用した保健体育講義における教材の開発. 大学体育スポーツ学研究 No17, pp.101.
- Nakazawa, K, Watanabe, T, Hisada, Y, Nishihara, Y, Nakazawa, Y. (2019). Using Gaze Analysis to Develop a Reflective Approach for Improving Observation Skills of Childcare Teachers. OMEP-APR in Kyoto 2019 Conference program & proceeding. pp.69.
- Nakazawa, K. Watanabe, T. Hisada, Y, Nishihara, Y. (2019). Gaze Analysis of Early Child Care Teachers Observation Skill. 24th annual Congress of the European College of Sports Science Proceeding, pp.86.
- 中澤 謙. (2019). 保育実践場面における保育者の観察力量を高める方法の開発①. 日本保育学会第72回大会論文集. pp.809-810.

(競争的研究費)

- 2019年度科学研究費補助金(基盤研究C). 保育実践場面における保育者の観察力量を高める方法の開発(研究代表者)

2. 教育・運営・FD活動

(担当授業)

- 体育実技1(3クラス) / 体育実技2(3クラス) / 体育実技3 / 体育実技4(水泳)
- 保健体育理論
- 卒業研究 • アカデミックスキル1 • アカデミックスキル2
- SCCP (Human Body Motion Analysis Project)
- 運動と健康(短期大学部)

(学内委員会)

- 教務委員会 • 衛生委員会

3. 社会貢献

(外部委員)

- (公財)日本水泳連盟学生委員会北部支部(支部長)
- 福島県スポーツ振興基金(理事)
- 福島県スポーツ医・科学委員会(委員)

長谷川 弘一 (2018年4月～2020年3月)

1. 研究活動

1) 研究論稿

剣道の伝統と文化の研究 (序論) (会津大学文化研究センター研究年報 2019年3月共著)

2) その他の業績

- ・ 講話・実技研究に関する講習会報告書作成および資料整理
 - 全日本剣道連盟 講師養成講習会 2018～2019 (年2回)
 - 女子指導者講習会 2018～2019 (年2回)
 - 中央講習会 2018～2019 (年1回)
- ・ 全日本剣道連盟月刊誌『剣窓』 六段・七段審査 審査委員書評 (1稿)
- ・ 全日本剣道連盟 剣道範士称号 拝受 2019年5月6日

2. 主な教育・指導・社会的活動(学外での活動のみ記載)

1) 役職

- ・ 全日本剣道連盟指導委員会 委員兼幹事
2018年4月～2019年4月
- ・ 全日本剣道連盟普及委員会 委員
2019年5月～
- ・ 福島県剣道連盟 常任理事
2018年4月～現在 医科学委員会委員

2) 教育・指導・社会的活動

- ・ 全日本剣道連盟指導委員会 (委員兼幹事)、全日本剣道連盟普及委員会 (委員)
各種指導講習会の実施内容検討企画業務および報告書提出業務
 - ・ 全日本八段選抜剣道大会出場 2018年4月 於名古屋市
 - ・ 全日本剣道連盟 剣道研究会 指導委員会委員兼幹事として参加 (於 北本市)
2018年、2019年3月
 - ・ 全国剣道六・七段昇段審査会審査員
2019年8月 (北海道)、2019年9月 (長野)
 - ・ 全国青少年剣道錬成大会講師 (日本武道館派遣講師)
於福井市 2018年8月富山市
 - ・ 東日本高齢者剣道 (相楽杯) 大会審判長 2019年8月
 - ・ 全国剣道指導者養成講習会 (幹事として業務) 2018年10月
 - ・ 全日本剣道連盟 全国女子剣道指導者講習会幹事として参加 2018年10月
 - ・ 全国高齢者剣道連盟 (於 山形県米沢市) 剣道研修会
講師 米沢市主催 2019年1月

執筆者一覧 (五十音順)

- 網谷 祐一 (A) 会津大学上級准教授 (哲学・科学史)
- 池本 淳一 (P)(A) 会津大学上級准教授 (社会学)
- 蛭名 正司 (P)(A) 会津大学准教授 (教育心理学)
- 荻間澤 勇人 (PF)(A) 会津大学教授 (教育学)
- 小暮 克夫 (A) 会津大学上級准教授 (経済学)
- 清野 正哉 (P)(A) 会津大学上級准教授 (法学・情報倫理)
- 中澤 謙 (P)(A) 会津大学上級准教授 (保健学)
- 西原 康行 (P) 新潟医療大学大学院教授 (教育学)
- 久田 泰広 (P) 会津大学准教授 (工学)
- 長谷川 弘一 (O)(A) 会津大学教授 (体育史・武道史)
- 渡部 琢也 (P) 会津大学短期大学部講師 (体育学)

※ (PF)巻頭言 (P)論文 (A)活動報告 (O)その他

会津大学文化研究センター研究年報 第26号 2019

2020年 3月 31日 発行

発行 会津大学

郵便番号 965-8580

福島県会津若松市一箕町鶴賀

Fax 0242(37)2751

編集 会津大学文化研究センター

